

【プロバビリティーカーブ】

英 probability curve

和 プロバビリティーカーブ

【用語の解説】

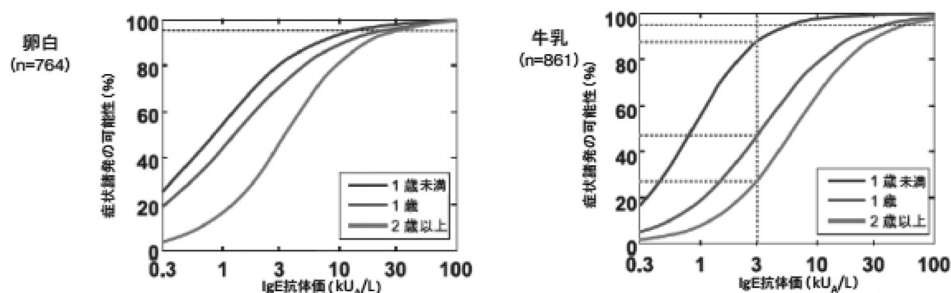
プロバビリティーカーブは大きく二つの意味がある。通常、英語で“probability curve”といえは、それは正規分布曲線のことである。正規分布は推定統計において最も重要な確率分布の原則である。連続的に変化するたくさんの数の変数は、平均値を中心としてほぼ対象にベル型の曲線を描き分布するという原則のことを指す。正規分布はいたるところで使用されている。例えば、偏差値は正規分布を利用し、50点を平均値としたうえで1SDごとに10点をプラスマイナスした値である。正規分布曲線に従うのであれば、偏差値60の人はトップから16.7%のところのところに位置し、偏差値70の人はトップから2.5%のところのところに位置することになる。

「プロバビリティーカーブ」という言葉で示されているもののもう一つの意味は、ある変数の値が事象の有無、あるいは、将来のイベント発生をどの程度の確率で予測することができるかということを連続的にプロットしていったときに作成される曲線のことを言う。我が国においては、アレルギー疾患領域において、特異的IgE抗体検査値が連続的に高値となるに従い、実際のアレルゲン負荷試験の際にどれくらいの確率で症状を誘発するのかという点をプロットしていった際に生まれた曲線が有名である(図)。

(国立病院機構東京医療センター 臨床疫学研究室長 尾藤 誠司)

本誌472pに記載

プロバビリティーカーブ  
(イムノキャップ値と症状誘発の可能性)



「食物アレルギーの診療の手引き 2014」検討委員会、「食物アレルギーの診療の手引き 2014」より転載